

令和7年度事業報告

◎会員の状況

令和7年4月1日現在	261名
令和7年度 入会者数	0名
令和7年度 退会者数	15名
令和8年3月31日現在	246名

1 医療保険制度の円滑な運営に関する事業

(1) 医療費支給申請書の審査に協力し、適正な保険取扱業務の推進に努める。

新潟県柔道整復師会審査委員会、協会けんぽ新潟支部柔道整復療養費審査委員会施
術者審査委員、新潟県国民健康保険柔道整復師施術療養費審査会審査員及び新潟労働
局柔道整復師施術費用審査委員として審査業務に協力した。

(2) 保険取扱研修会を開催し、適正な保険取扱業務の推進に努める。

会員柔道整復師の知識の向上と療養費の適正な請求を行うための保険取扱研修会
を開催した。

① 日 時：10月13日（月/祝）午後1時から午後4時

会 場：新潟市万代市民会館 6階多目的ホール

参加者：129名

講師・内容：

○関東信越厚生局新潟事務所 指導課長 野本一浩氏

演題「柔道整復師の施術に関する制度について」

○全国健康保険協会新潟支部 業務グループ長 磯野寧宏氏

演題「療養費申請と協会けんぽの取り組みについて」

○新潟県国民健康保険団体連合会 審査業務二課 課長 熊倉篤氏

第一係長 金子邦彦氏

演題「新潟県国民健康保険団体連合会における療養費請求等の
状況について」

○新潟県柔道整復師会 市川寿秀 保険部長

演題「広告ガイドラインについて」

② 各ブロック保険研修会

・上越ブロック

春季：4月19日（土） 参加者：会員43名

市川保険部長より「保険取扱等について」説明を受けた。

年末：12月13日（土） 参加者：会員35名

市川保険部長より「保険取扱等について」説明を受けた。

・中越ブロック

12月13日（土） 参加者：会員33名

金子会長より「柔道整復師の業界動向について」・小林理事より「保険取り扱い等について」説明を受けた。

・下越ブロック

12月21日（日） 参加者：会員26名

金子会長より「柔道整復師の業界動向について」・市川保険部長より「保険取扱いの注意点について」説明を受けた。

(3) 新入会員を対象として講習会を開催し、柔道整復師の保険取扱業務指導を行う。

○新入会員がいなかったため講習会は実施しなかった。

2 柔道整復師の資質の向上並びに柔道整復術の医学的研究に関する事業

(1) 学術研修会を開催する。

○4月19日（土）上越ブロック春季学術研修会 参加者：会員43名

講師 行政書士森腰淳法務事務所 代表行政書士 森腰 淳 先生

演題 「交通事故の自賠責保険施術について」

○12月13日（土）上越ブロック年末学術研修会 参加者：会員35名

講師 上越地域医療センター病院 整形外科部長 小坂 泰啓 先生

演題 「骨粗鬆症について」

○12月13日（土）中越ブロック年末学術研修会 参加者：会員33名

講師 医療法人 晴生会 介護老人保健施設「葵の園・長岡」 施設長・医学博士

中越ブロック学術顧問 立川厚太郎 先生

演題 「肩関節の機能解剖と臨床での診かた（ポイントと落とし穴）」

○12月21日（日）下越ブロック年末学術研修会 参加者：会員26名

講師 新潟臨港病院 麻酔科 権 斎増 先生

演題 「医接連携が目指すもの」

○会員学術発表

2月22日（日）新潟東映ホテルにて開催され、61名の参加があった。

・講演会 講師：公益社団法人日本柔道整復師会

学術教育「匠の技 伝承」講師 小野 博道 先生

演題：「足関節周辺の外傷の超音波観察装置（エコー）活用方法」

・会員論文発表：關 満彦 会員

演題：「柔道整復師における外傷の対応（症例報告）」

なお、關 満彦会員を、令和8年6月に石川県で開催される北信越学術大会の新潟

県代表（会員論文発表）とすることとした。

(2) 日整学術・生涯学習講習会に協力する。

11月15日（土）日整会館で開催され、金子会長及び市川副会長が出席した。

(3) (公社)日本柔道整復師会北信越学術大会福井大会に参加する。

(公社)日本柔道整復師会第45回北信越学術大会福井大会が、6月28日（土）・29日（日）福井市「ザ・グランユアーズフクイ」において開催され、本会から役員他会員11名が参加した。

なお、学術大会における会員発表には、本会を代表して關 満彦会員が「整骨院における拡散型（ラジアル）体外衝撃波R-SWの有用性～疲労性骨折へのアプローチ4例の施術成績～」について論文発表を行った。

(4) 新潟柔整専門学校との協調を図る。

新潟柔整専門学校への業界説明会は実施されなかったが、4月1日（火）新潟県民会館で開催された同校入学式及び3月14日（土）新潟県民会館で開催された同校卒業式に中村理事が出席し、本会のPRを兼ねて祝辞を述べ、優等卒業生に表彰状を授与し、学校との連携協調を図った。

3 柔道整復師並びに柔道整復術の普及、啓発に関する事業

(1) 一般県民及び柔道整復師を対象とした公開講座を開催する。

○新潟県民医療推進協議会の会員として災害に強い地域社会を目指し、防災・災害医療をテーマとした教育イベント事業に協力した。

(2) 会員研修会を開催する。

○「匠の技 伝承」プロジェクト事業を次のとおり実施した。

・指導者候補者4名：小林英樹会員、早川雅成会員、和田浩一会員、金谷隆史会員

・受講方法：4月は、日整会館にて和田浩一会員・金谷隆史会員が参加。

その他は、本会館及び自宅でオンラインによる画面の視聴で参加。

・受講日及び内容

4月13日（日） 「手指の骨折・脱臼、足指の骨折・脱臼」実技実習

11月30日（日） 「足周辺の骨折」超音波観察装置取扱技術実習及び「足周辺の骨折・顎関節脱臼」整復固定施術技術実習

2月8日（日） 「鎖骨骨折、肋骨骨折」整復固定施術技術実習及び超音波観察装置取扱技術実習

○日整「匠の技」第2回技術講習会の開催

公益社団法人日本柔道整復師会では、「柔道整復術公認100年記念」の一環として、柔道整復師の資質向上と施術の技術の平準化を確保するため「匠の技伝承プロジェクト」を推進し、柔道整復伝統の技術である「無血徒手整復技術」の向上に献身し国民の健康と安全に貢献することを目指し、10月5日（日）本会館にて「肩甲上腕関節

脱臼の整復法と固定法の講習」を実施した。参加者は24名であった。

○運動器超音波解剖（下肢編）ワークショップの開催

4月6日（日）柏崎文化会館アルフォーレ、4月27日（日）本会館において運動器超音波解剖（下肢編）のワークショップを開催した。下肢各組織の基礎的観察方法、下行膝動脈血流速度測定、踵骨下脂肪体圧縮率測定、組織滑走性の確認等（股関節・ハムストリング・ダイレクトアーム・MME_FADPAD・総腓骨神経・足根管・リスフラン関節・ATFL）の実技研修を行った。参加者は2日間2会場30名であった。

○長岡地区相談会の開催

11月1日（土）長岡市社会福祉センタートモシアにおいて、API連携操作、返戻や長期頻回理由など保険請求関係、施術内容等について大橋理事と鹿島長岡地区長2名で相談会を開催した。相談者は2名であった。

○解剖実習の開催

11月24日（月/祝）日本歯科大学新潟生命歯学部解剖実習室において、解剖学講義、肩関節講義及び解剖実習を実施した。参加者は22名であった。

(3) 機関誌「新整広報」第55号を発行する。

会員から投稿を募集するなど内容を充実させ、年1回2月1日発行した。

本年度からはデジタル広報誌としてHP上に公開し、会員及び関係団体等に対してURLまたはQRコードよりご覧いただくよう案内をした。

(4) 情報公開を推進するとともに、ホームページの積極的な利用を促進する。

本会ホームページの一般用、会員用とも内容を充実させるとともに、タイムリーな内容を掲載するよう努めた。

「新整広報」や重要な通知等も保存可能となり情報検索が容易となった。

(5) （公社）日本柔道整復師会諸事業に積極的に参加し協力する。

代議員として参加協力した。

(6) 北信越ブロック会諸事業に積極的に参加し協力する。

各県会長会が7回、理事会が2回開催され、金子会長、丸山副会長、市川副会長、加藤理事が出席した。

(7) 会員の加入促進を図る。

新潟柔整専門学校の入学式において金子会長、卒業式において中村理事が挨拶の中で本会の説明を行い加入促進・勸奨を図った。

4 県民の健康、保健、介護及び福祉増進に関する事業

(1) 県内市町村の健康増進事業に積極的に参加するとともに、その運営に協力する。

上越ブロックでは、関係各課との情報交換懇談会を開催した。

○11月1日（土）上越市健康福祉部関係各課との研修懇談会 参加者:会員19名

- 11月8日(土) 妙高市関係各課との研修懇談会 参加者:会員5名
- 11月8日(土) 柏崎市関係各課との研修懇談会 参加者:会員9名

(2) 医師会及び関係団体との連携を強化する。

- 11月2日(日) 新潟県在宅医療推進フォーラム「第17回在宅ケアを考える集い in 越後2025」の開催にあたり後援した。
- 11月20日(木) 国民医療推進協議会主催「国民医療を守るための総決起大会」に出席した。
- 2月8日(日) 県医師会主催「介護保険25年と地域包括ケア等について」主治医研修会(WEB研修)に参加した。
- 2月19日(木) ANAクラウンプラザホテル新潟にて、医師会との懇談会を開催し医療をめぐる諸問題について情報交換を行った。
- 3月13日(金) ANAクラウンプラザホテル新潟にて、協会けんぽ新潟支部、健保連新潟連合会及び本会との三者連絡懇談会を開催し情報交換を行った。

(3) 介護保険制度への積極的な参画及び推進を図る。

新潟市他6地域で介護認定審査委員、妙高市他1市で地域包括センター運営協議会委員として、地域の介護保険制度の推進に積極的に参画した。

上越市の各地区において延べ48回の介護予防教室を開催、妙高市では介護予防事業「リハビリ健康講座」が8回開催され延べ124人の参加があった。

(4) 各地域で健康教室の開催など、地域住民の健康の保持増進を目的とした事業を推進する。

- 6月21日(日) 柏崎市元気館にて「柏崎市歯の健康展」が開催され、柏崎市内の会員6名が「柔道整復師による相談ブース」を出展し参加した。
来場者103名に対して「柔道整復師による身体の不調に関する相談対応、ストレッチ及びテーピング体験、接骨院の役割や施術内容に関する説明」などの啓発活動を行った。
- 9月13日(土)・14日(日) アオーレ長岡にて「すこやか・ともしびまつり2025」が開催され、中越ブロック長岡地区会員10名が参加した。
来場者161名に「ストレッチボード測定とテーピング体験」をしてもらい、36名の健康相談を受け、市民に対して接骨院・整骨院の役割や健康づくりのアドバイスをを行った。
- 新潟市内の2体育施設において、新潟市開発公社主催で通年開催されている健康教室に外部講師として依頼を受け、2名の会員が参加し指導を行った。
延べ指導回数8回、延べ参加市民は176名であった。

5 教育、スポーツ等を通じて県民の心身の健全な育成並びにスポーツ競技者、障がい者の支援に関する事業

(1) 各種スポーツ大会に協力する。

県内外各所で開催されたマラソン大会をはじめ柔道、空手、バレーボール等の大会に多くの会員が救護ボランティアとして協力した。

(2) 第36回新潟県柔道整復師会県下少年柔道大会・第14回形競技大会を開催する。

7月27日(日)上越市「謙信公武道館」において、参加者の安全面を第一に考慮して大会を開催した。

参加選手は、柔道大会28団体95名、形競技会6チーム12名であった。

(3) 第34回日整全国少年柔道大会、第15回日整全国少年柔道大会形競技大会、第44回日整全国柔道大会、第6回全国柔道整復師高段者大会に参加し開催に協力する。

11月16日(日)東京都「講道館」において大会が開催され、当県からは、少年柔道大会で監督：牛木幹人会員、コーチ：加藤智範理事、選手：大将に山田健志朗君、副将に若槻匠吾君、中堅に花木亮太君、次鋒に馬場にい菜さん、先鋒に若槻大支君が出場した。成績は「1-3」で1回戦敗退となった。形競技では監督：長澤美希氏、取：池上寛大君、受：池上こころさんが出場した。成績は予選Bブロック1位で決勝進出を決め、本県初の入賞「第3位」に輝く快挙を成し遂げた。また、高段者大会では六段の部に桑名和行会員が参加したが惜しくも敗退した。会員大会には本県からの出場選手はいなかった。

6 公衆衛生、災害、治安の維持に関する事業

(1) 新潟県総合防災訓練及び各市町村の防災訓練に参加し協力する。

○新潟県・出雲崎町総合防災訓練が10月19日(日)に行われ、本会から2名が参加し、日本赤十字社とともに医療支援訓練に参加した。

○五泉市総合訓練が9月21日(日)に行われ、本会から3名が参加し、日本赤十字社と連携を取りながら骨折、脱臼、打撲、捻挫、挫傷等の応急医療活動訓練に参加した。

○上越市総合防災訓練が8月30日(土)に行われ、本会から1名が参加し、救護所開設・運営訓練に市の健康づくり推進課保健師と協力して、災害時に身近にある素材を使って傷病者へ応急手当を施し、注意点等を説明しながら住民に啓発を行った。

(2) 新潟県柔道整復師会災害救護赤十字奉仕団として、災害救護活動に取り組むとともに、日本赤十字社新潟県支部の救護活動に協力する。

日赤救護活動方針に基づき、県内外各所で開催された各種スポーツ大会に救護ボランティアとして救護活動に協力するとともに、日本赤十字社新潟県支部に「日赤救護活動」に対して金一封贈呈した。

・救護活動：47回 ・救護者：548名

(3) 「新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会」の活動に参加するとともに地域社会と一体となって、犯罪のない安全なまちづくりの推進に協力する。

推進協議会の構成団体として犯罪のない安全なまちづくりの推進に協力した。

- (4) 「こども・女性・おとしより・かけこみ 110 番」の設置運用を推進する。

施術所に「こども・女性・おとしより・かけこみ 110 番」のステッカーを設置。

- (5) 災害時における救護活動を円滑に行うため、組織体制の確立を図るとともに人材育成に取り組む。

柔道整復師こそが災害現場で活躍できることを社会に向けて発信し、救助現場から復興までどのように活躍できるかの体制づくりを進めていくため、災害時の情報共有システム等について日整の WEB 研修に 1 名参加した。

- (6) 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付事業部運営協議会に参加した。

災害共済給付事業の事業報告及び事業計画の説明を受けた後、円滑な実施運営を図るため、地域の関係団体との連携による事故防止情報及び学校等における事故防止情報等について意見交換を行う中、本会の事業への取り組みの現状及び問題点について報告した。

7 会員の福祉増進及び相互扶助に関する事業

- (1) 新潟県知事への要望書提出

国の令和 7 年度補正予算(案)「重点支援地方交付金による物価高騰対策支援」への対応について、新潟県知事に対して 12 月 11 日(木)に要望書を提出した。

- (2) 共済部事業を推進する。

規約に基づき、傷病見舞金 8 件、災害見舞金 1 件、香典 10 件の給付金支給及び弔電並びに生花を贈呈した。

- (3) 全国国民年金基金に協力する。

会務報告にリーフレットを同封する等、会として事業に協力した。

- (4) 新潟県柔道整復師協同組合の活動に協力する。

本会ホームページの新潟県柔道整復師協同組合のページに、お得な商品のチラシ等を紹介した。また、会務報告にチラシを同封するなど会員の物資販売事業に協力した。

- (5) 会員に有益な情報を提供する。

日整及び医師会等関係機関からの会員にとって有益な各種情報等を会務報告や会員ホームページに随時掲載し情報の提供に努めた。

- (6) 北信越ブロック親善ゴルフ大会に協力する。

9 月 21 日(日)長野県安曇野市の豊科カントリー倶楽部にて北信越ブロック親善ゴルフ大会が開催され 2 名が参加した。

8 その他本会の目的達成のために必要な事業

- (1) 新潟県柔道整復師会館の有効利用を図る。

日整「匠の技」技術講習会、広報委員会、柔道スポーツ委員会、保険委員会及び関係団体等の会議に利用した。